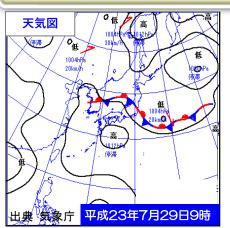
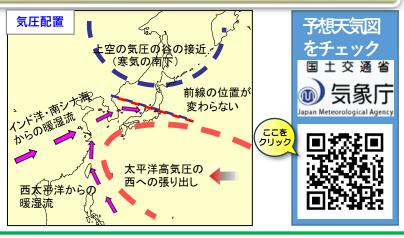
### どんなときに大雨になりやすい?

### 前線の場合

#### 【6月~8月頃】前線信濃川流域の北側に梅雨前線が停滞するとき



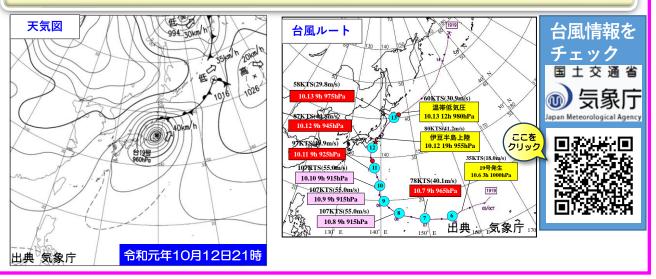


### 台風の場合

### 【主に8月下旬~9月】台風信濃川流域の東側を台風が北上するとき



### 【主に10月】 台風 信濃川流域の東側を台風が北東へ進むとき



### 長岡市にお住まいのみなさまへ

# 大雨による増水から 早めに身を守るために



上空から見た信濃川(大手大橋付近)

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

## 信濃川は、梅雨前線、台風、いずれの気象条件でも大雨により河川の水位が上がります!

遊離判断水位 83.1m

### さらに今後の気候変動で大雨が増えるおそれもあります!

氾濫危険水位 83.7m

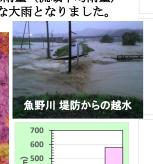
氾濫注意水位 82.5

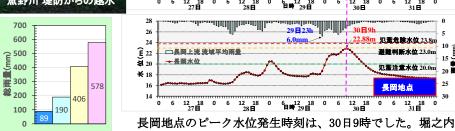
小千谷地点

### 前線による大雨 平成23年7月 新潟・福島豪雨

<mark>信濃川流域に梅雨前線がおよそ4日間も停滞</mark>、記録的な大雨となり水位が上昇!

平成23年7月27日未明から30日にかけて、前線が朝鮮 半島から北陸地方を通り関東にかけて停滞し、前線に 向かって南の暖かい湿った空気と北のオホーツク高気 圧から冷たい空気が流れ込み、前線の活動が活発化し 積乱雲が発達しやすい状況が長期間継続しました。魚 野川流域では、堀之内地点の総雨量(流域平均雨量) が578mmを記録するなど記録的な大雨となりました。

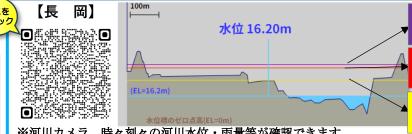




地点のピーク水位発生時刻の5時間後、小千谷地点のピーク水 位発生時刻の2時間後となっていました。

※1)メッシュ雨量(気象庁解析雨量)から流域平均雨量を算出しています。

### 川の水位や雨の量を確認(川の防災情報:各水位観測所のQRコード)



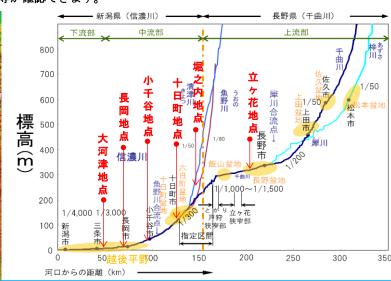
河川が氾濫するおそれのある水位 警戒レベル3:避難判断水位23.00m

警戒レベル4:氾濫危険水位23.80m

辟難情報発表の目安となる水位 警戒レベル2:氾濫注意水位20.00m

河川の氾濫の発生を注意する水位





### 台風による大雨昭和56年8月台風15号

各流域の総雨量※2

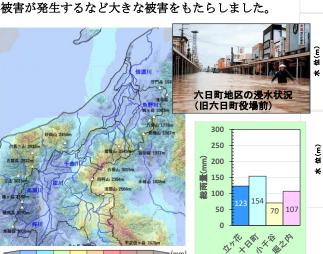
各流域の総雨量※

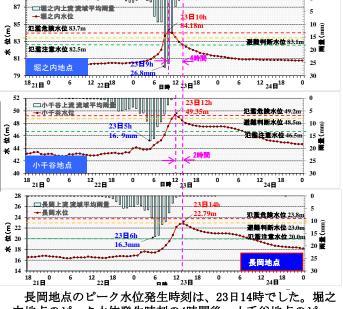
8月下旬~9月末信濃川流域の東側を北上するとき、大雨により水位が上昇!

昭和56年8月16日15時に沖ノ鳥島の西南西約500km海上 で発生した台風15号は、8月23日4時過ぎ頃、大型で並 の強さの勢力で千葉県館山市付近に上陸し北北東に進 み関東、東北地方を通って23日9時に仙台市に達しまし た。新潟県内では、上越地方と中越地方の山沿を中心 に大雨となりました。魚野川流域では、市街地で浸水

総雨量分布図

総雨量分布図





内地点のピーク水位発生時刻の4時間後、小千谷地点のピー ク水位発生時刻の2時間後となっていました。

### ※2)メッシュ雨量(気象モデルによる計算)から流域平均雨量を算出しています

### 台風による大雨 令和元年10月 台風19号

10月に信濃川流域の南側を北東へ進む時、大雨により水位が上昇!

に抜けました。長野県内では、千曲川上流、新潟県内 では、中越地方で大雨となり、信濃川流域で大きな被 害をもたらしました。 長生橋上流の状況 250 Ê 200 150

総雨量分布図

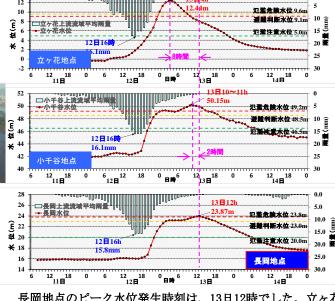
令和元年10月台風第19号は、南鳥島近海で6日3時発生

その後、高気圧沿いに北に進み、最大風速が60m/s前

後に達する「スーパー台風」に匹敵する勢力となりま

した。12日19時頃「大型で非常に強い勢力」のまま伊

豆半島に上陸し、関東甲信から東北を縦断して太平洋



長岡地点のピーク水位発生時刻は、13日12時でした。立ヶ花 地点のピーク水位発生時刻の8時間後、小千谷地点のピーク水 位発生時刻の2時間後となっていました。

※1) メッシュ雨量 (気象庁解析雨量) から流域平均雨量を算出しています。